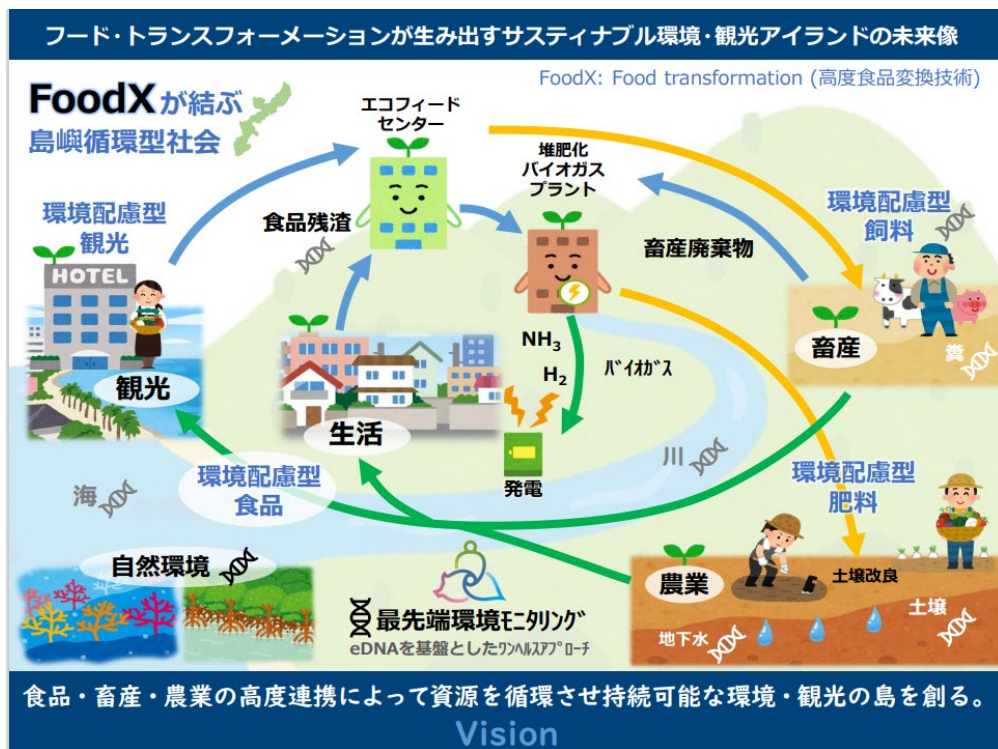


「食資源循環による環境・観光の島を創るコンソーシアム」  
設立に関する趣意書

現在、フードロス、食の安全保障、飼料・肥料の高騰や環境汚染など、食・農・環境に関する問題が山積しています。特に小さな島の集まりである沖縄で問題は深刻で、これらを解決するためには沖縄型の新たな食資源循環システムの構築が急務です。また沖縄が世界から選ばれる持続可能な観光地となるためにも、自然環境保全に加えて環境負荷を抑制する食資源循環の取組が必要です。これらの背景を踏まえ、琉球大学が発起人となり沖縄県、うるま市および沖縄市等の自治体と県内外の様々な企業が連携して、食品・農業・観光の高度連携によって食資源を循環させ、持続可能な環境・観光の島を創ることをビジョンとした「フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点」プロジェクトが2022年からスタートしました。

ビジョンの実現のためには、プロジェクトメンバーだけでなく、多くのステークホルダーによる議論が必要です。そこで、地域住民・自治体・企業・大学等の多くのステークホルダーによる情報・意見交換による、ビジョンの深掘り・共有を行い、ビジョン実現に向けた取組を推進するための「食資源循環による環境・観光の島を創るコンソーシアム」を設立することとしました。本趣旨に賛同される多くの方の参加を歓迎します。

フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点  
設置責任者 木暮一啓（琉球大学研究担当理事）  
プロジェクトリーダー 平良東紀（琉球大学農学部 教授）



食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る。

Vision